

「もっといいロータリークラブになろうよ」 山形南ロータリークラブ会報

世界への
プレゼントになろう



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2800

RI会長：K.R. ラビンドラン 2800地区ガバナー：酒井 彰 ガバナー補佐：水上 進
 会長：鈴木 政康 幹事：中村 篤 会報・史料委員会 委員長：熊谷 昌和
 委員：栗嶋 学 佐藤 直人 新野 義章 間木野 仁美

第2113回例会

2016-1/26(火) 天気(晴)

- 例会場：ホテルキャッスル
- 点 鐘：PM 12:30 鈴木 政康 会長

- 司会進行 (SAA)：石山 祐介君
- ロータリーソング：「我等の生業」

会長挨拶



皆さんこんにちは。今日は山形市の佐藤孝弘市長をお迎えしての例会です。若き新市長からどんなお話を聞けるか大変楽しみにしております。とともに、市長の前での挨拶ということでもいつもより緊張いたしております。

自分もこのRCの中では一応若手の会長とっていましたが、自分より一回り若い市長を前にすると、とても自分が若手だなんて言えません。実際あと1年で50歳ですから、決して若い訳ではありませんが、長い間若手会員と言われ、多くの場面で先輩達に甘えることに慣れてし

まっていたかもしれません。気が付けば、山形南RCでも自分より若い会員がずいぶん増えましたし、RC以外でも自分より若い社長に会うことは珍しくなくなりました。市長が若いだけでいろんなことに気づかされました。

さて、先週末には心配された雪も積もり蔵王でジャンプのワールドカップが開催され、高梨沙羅さんが見事2連勝いたしました。うちの娘が高梨沙羅と同じ身長(152cm)で顔つきも少し似ており、ジャンルが違いますがスキーをしているので、スポンサーワッペンの付いたスキーウェアを来て同じメーカーのヘルメットを被るとスキー場でよく間違えられます。親近感もあり勝ってくるとなんかうれしいですね。

幹事報告 中村 篤 幹事

1. K. R. ラビンドランRI会長より鈴木政康会長へ「ワールドクラス」ピンの贈呈。
2. 今週末まで、下期会費の納入よろしくお願いたします。例会終了後、理事会を開催します。



委員会報告

- ニコニコBOX 阿部 浩一君
鈴木 政康君 「ワールドクラス」ピンを頂き、ありがとうございます。
- 武田 和夫君 今日、81歳の誕生日です。近くのお店で5千円で1万円分位のお祝いをして頂き、ありがとうございます。

○本日出席・前回修正出席

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日	54名		35名	
前回修正	54名	51名	51名	100.0%
他クラブで メイクアップ された会員				

※本日の結果は2週間後に報告 ※修正は2週間前の結果報告
 出席会員数÷算出会員数=出席率
 算出会員数とは? 出席義務会員+メイク免除会員の出席者
 出席会員数とは? 出席義務会員の出席者+メイク免除会員の出席者+メイク会員

◇2月の記念日◇

- 会員誕生日 三沢 寛君・齋藤 源七君・長谷部成昭君
- 結婚記念日 伊藤 誠君・中村 篤君・関根 隆清君
松田 勝彦君
- 奥様誕生日 鈴木 政康君・菊川 明君・高梨 英吉君
- 企業創立記念日 金田 亮一君・宮舘 順治君・川合 賢助君



例会場/ホテルキャッスル 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30

事務所/山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内

月曜日

山形西 山形イブニング

火曜日

山形中央

水曜日

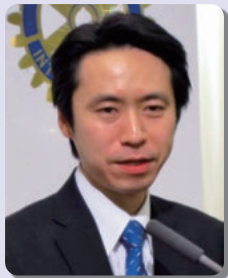
山形

木曜日

山形北

金曜日

山形東



「これからの市政運営について」

山形市長 佐藤 孝 弘 氏

山形南ロータリークラブの皆さん、こんにちは。山形市長の佐藤孝弘です。今日はゲスト卓話ということでお招きを頂きありがとうございます。これからの市政運営についてお話をさせていただきたいと思っております。昨年9月28日から市長に就任させていただいて以来、この山形を何とかして元気にしたいという思いで、活動をしている訳ですが、その中でも一番の課題と思っていることが、人口減少であります。これからの山形市の政策は、この人口減少を食い止める。そして人口を増やしていく。それを目指した政策体系で取り組んでいきたいと思っております。人口減少は、非常に深刻であります。人口が一割減れば、売り上げが一割減る、これは経営者はもちろん企業で働いている方も給料のパイがなくなっていく訳ですから給料が減る。また雇用自体が減っていき、将来大変なことになる危機感を持っております。

人口の話をしていただきますが、東北900万人割れということで、2015年の国勢調査の結果が出て、ついに900万人を割ってしまったということが判明しました。ここでどう考えるかですが、東北全体、日本全体では人口減少に入ったということです。そうした時に市町村単位で見るとどうなのか、県単位で見るとどうなのか。全ての市町村が全国には1700ありますが、全ての市町村が同じ割合で減っているのであれば、山形も仕方ないねとなりますが、決してそうではありません。大きく減る自治体、少しだけ減る自治体、現状維持の自治体、少し増える自治体、大幅に増える自治体ということで分かれているのが実態であります。当然減っている自治体の方が多いということです。東北で見ますと、227の市町村があります。そのうちいくつかの市町村がこの5年間で人口が増えているかという22の市町村で人口が増えています。山形市はその中に入っておりません。山形県で入っているのは、東根市と天童市であります。天童市はやや増加、東根市はもっと増えている。東根市は、ずっと増加傾向を維持しています。注目すべきは、お隣仙台市、あるいは宮城県であります。仙台市は、5年間で、3.5%人口が増えました。これは、36,199人です。3万人以上増えているということです。ですから、人口減少だから仕方ないという発想を私は取るべきではないと思っております。要するに東北の中でも、全国の中でもものすごい人口の移動が起こっているわけでありまして、東北から仕事を求めて東京に出るといふ人もかなりおられますし、東京に行かずに、仙台に来て、そして仙台に定住をして働いていくという方も非常に多いということだと思います。だからこそ仙台市は、3.5%人口が増えているということでありまして、当然宮城県の仙台市周辺の市町村もそれに伴い、ベッドタウン的な要素ですとか、様々ありまして増加をしております。宮城県の自治体の内9の市町村で人口増加があります。東北22の市町村のうち9が宮城県であります。ここで山形市はどういう立場にあるのかということ、仙台市は人口が増えている、仙台市の周辺の市町村も増えている。山形市は仙台市の隣にあります。県はまたぎますが地続きです。人口の集約点である仙台の隣にある。これは極めて有利な条件だと思っております。例えば秋田市と比べればわかります。秋田市は秋田県で一番人口が多いわけですが。周りには、大きな町がなく人口がどんどん減っていき、増える要素がないということだと思います。

山形市は、隣に100万人以上の都市があり、そこにこれか

ら人口が集約していくということで、これは徹底した地理的な条件を活かして、元気でなければならぬ。ということが、私の人口に関する基本的な考え方でありまして、自治体財政で見ても、地方交付税をもらっていない団体、不交付団体が全国にそんなに数は多くないですが、非常に大都市の隣に隣接している自治体が多いです。つまり様々な面でベッドタウン的な要素もそうですし、あるいは隣に大きな町があるとその隣に位置する企業がそこで稼ぐ、山形の企業が仙台で稼ぐ、というようなことが起こって、結果的に周辺の自治体も一緒に潤うようなことが起こっています。是非この山形力を最大限に生かして、人口の増加に繋げていきたいと思っております。一方で、仙台市は、典型的な支店経済でありますので、個性が山形ほど強くないなと思っております。実際仙台に行ってみてもそうですし、いろんな食文化をはじめとして文化面でもそう思います。また山形には、いろんな山形ならではの強みがあります。宮城県の人からすると、仙台市長とお会いした時もおっしゃっていましたが、とにかく山形は食べ物おいしいです。というイメージを持たれているのです。これは、ブランドですね。このブランドを活かして、山形にもっと人に来ていただく。こんなことも必要です。また山形のすばらしい環境、自然に囲まれて、地震も少ない、災害も少ない、そうした環境で住んで頂いて、そして例えば働く場所は、仙台でということも追及していかなければならぬ。というように思っております。そうした基本的な人口に関する考え方、あるいは山形の全国における位置的な関係を考えてみますと、山形がこの5年間の東北の人口増加自治体22に入っていない。このことは大変残念であります。やりようによっては、当然ここに入っている。と私は確信しております。東北の中で山形は何番目か、県庁所在地では一番人口が少ない訳ですが、ポイントは、山形市は、合併していません。合併をしていない分、非常にコンパクトであります。同じ県内でいいますと、酒田や鶴岡が結構人口減少があるというのは、広域合併をしてその合併した部分がかかり減っているようなことであります。山形市は2市2町の合併がなくなりましたので、今はしていないという状況であります。そういった意味での広さというコンパクトな町であるということです。これも今から考えますとプラスに捉えていかなければならぬのではないかなと思っております。全国の中で、1700の自治体の中で山形市の人口は90番目です。ですから全国で1700の自治体の100の自治体が元気で生き残れる。そうしたら山形市は、100番以内に入らなきゃいけない。全国で50しか残れない、というのであれば、その50の中に山形市は入らなきゃいけない。そのような思いで、今いろんな政策を考えているところであります。

一番大きなポイントは、三つあると思っております。一つは、「雇用・働く場所の確保」です。二つ目は「子育て・教育環境の充実」です。三つ目は、「健康・医療・福祉における環境整備」です。この三つのポイントを重点的にやっていかなければならないと思っております。

今日は大きな考え方しか申し上げることができませんでしたが、これからもいろんな形で皆様からのご指導・ご助言を頂きたいと思っております。これからも頑張っていきたいと思いますのでどうぞ宜しくお願いいたします。今日はありがとうございました。